

閻魔堂・檀信徒休憩所落成記念

えんまさま





六道輪廻

ろくどうりんね 六道輪廻

わたしたちは、どこから来て、どこへ行くのでしょうか。

生き物はすべてこの世に生まれて、そして死んでゆきます。ひとつ生き物が死ぬと、また別の生き物として生まれ変わるとあります。これを輪廻といいます。

生まれ変わる世界は、天上・人界・修羅・畜生・餓鬼・地獄と分かれています。これを六道といいます。

七日ごとに生まれ変わり、遅くとも四十九日にはどの世界に生まれ変わるかが決められます。ですからこの四十九日の供養が大切なのです。





初七日 しょなのか

死者は七日ごとに裁判を受けます。初七日に秦広王（不動明王）に裁かれた者たちが、地獄の鬼に切られたり、こなごなにされています。でも、地獄では風に吹かれるとまた生き返り、何べんも責められ、苦しみ続けるのです。

罪の決まらない者たちは、二途の川を渡つて先へ行きますが、罪の深い者ほど川の深いところを渡らなければなりません。そして渡り終えたとたんに、みんな奪衣婆に着物をはぎ取られてしまいます。





二七日（十四日）

二七日（十四日）には初江王（釈迦如來）に裁かれます。

針の山や火の地獄が描かれています。鬼を投げ飛ばしている豪傑がいます。

わたしたちが七日ごとに死者の冥福を祈るのは、良い人に生まれ変わることができるようにするためです。

そうすると、天上から帯が投げられて、救いの道が開かれるのです。





三七日（二十一日）

三七日（二十一日）には宋帝王（文殊菩薩）に裁かれます。

鬼たちが死人をズタズタにしています。下には血の池地獄が広がっています。

上の山は「死出の山」といって、死ぬとまずさしかかるところで、とても険しく容易には登れません。鬼たちに追い立てられて泣く泣く山を越え、最初の秦広王のところにたどり着きます。



四七日（二十八日）

四七日（二十八日）

熱湯の川をやつとの思いで渡り、四七日（二十八日）には、五官王（普賢菩薩）に裁かれます。

うそをついた人は、首に枷^{かせ}をはめられ、針のむしろにすわらせられ、舌^{した}を抜かれた
り、こなごなにされています。



他の人の親切^{しんせつ}に感謝^{かんしゃ}しなかつた人が竜の口にとじこめられています。



五七日（三十五日）

五七日（三十五日）には、地獄の大王、閻魔大王（地藏菩薩）に裁かれます。

閻魔大王が良い行ないや、悪い行ないが書かれた物を読み上げると、死人は「私はそんな悪いことはしていません」と、ごまかそうとします。しかし、閻魔大王の鏡の前には、生前の行ないが全て写出されるので、うそをついてもすぐにわかつてしまします。





六七日（四十二日）

むなのか 六七日（四十二日）

六七日（四十二日）には、变成王（弥勒菩薩）に裁かれます。

赤鬼・青鬼・白鬼が肉だんごを食べていますが、その中に三つ目の鬼がいます。その目は何でも見破ることができます。

亡者が釘打ちの罰からのがれるために、ごはんや餅に釘が打たれています。





七七日（四十九日）

七七日（四十九日）には泰山王（やくしにょらい）によつて、最後の判決（はんけつ）が下されます。

これによつて六つの世界のどれかに行くことになります。そのひとつが地獄ですが、他には、餓鬼・畜生・修羅・人界・天上があります。自分ばかりおいしいものを食べていると餓鬼になつて、食事をしようとすると火になつて食べられません。畜生は人間以外の動物です。修羅は争いばかりしている世界です。人界は人の世で、天上は仏さまの世界です。





四十九日の泰山王のところで、どの世界へ行くかがまだ決まらなかつた者は、百日目に平等王（觀世音菩薩）に裁かれます。

今までのお話はけつして死んでからのお話ではあります。あとで後悔をしないように、今日から次のことをしましよう。

これを六波羅蜜といいます。

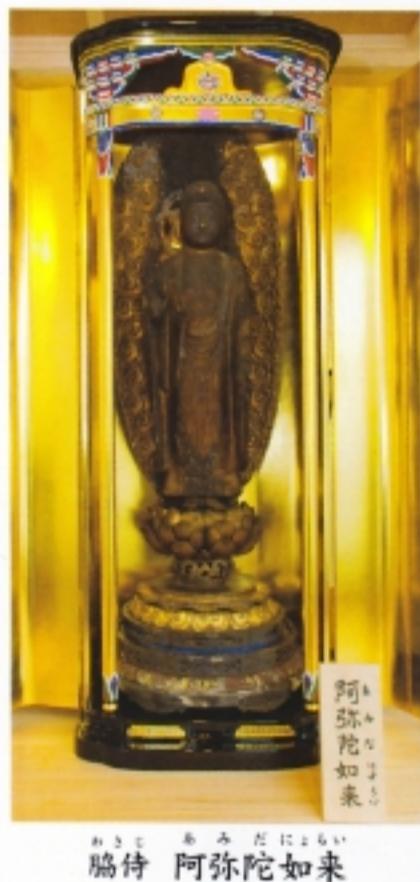
- 一、人に心と物を施しましよう。
- 二、約束を守りましょう。
- 三、我慢をしましよう。
- 四、努力をしましよう。
- 五、静かに物を考えることをしましよう。
- 六、頭を働かせることをしましよう。





平等寺 閻魔絵

下の方には地獄、上の方には極楽絵が描かれています。



えんま 大王 閻魔大王

脇侍 阿弥陀如來

脇侍 地藏菩薩

『閻魔大王は、三途の川を渡ってようやく冥府にたどりついた死者と最初に対面し、生前の善行悪行による賞罰の審判を下す、冥界の王としておそれられ、あつく信仰されている。この大王は地蔵菩薩を本地仏とし、自ら地獄に落とした亡者を救う、慈悲ある存在でもあるとされる。

中国道教の影響がつよく、冠と道服をつけて手に笏をもつ、おそろしい忿怒相にあらわされることが多い。

閻魔堂及び檀信徒休憩所



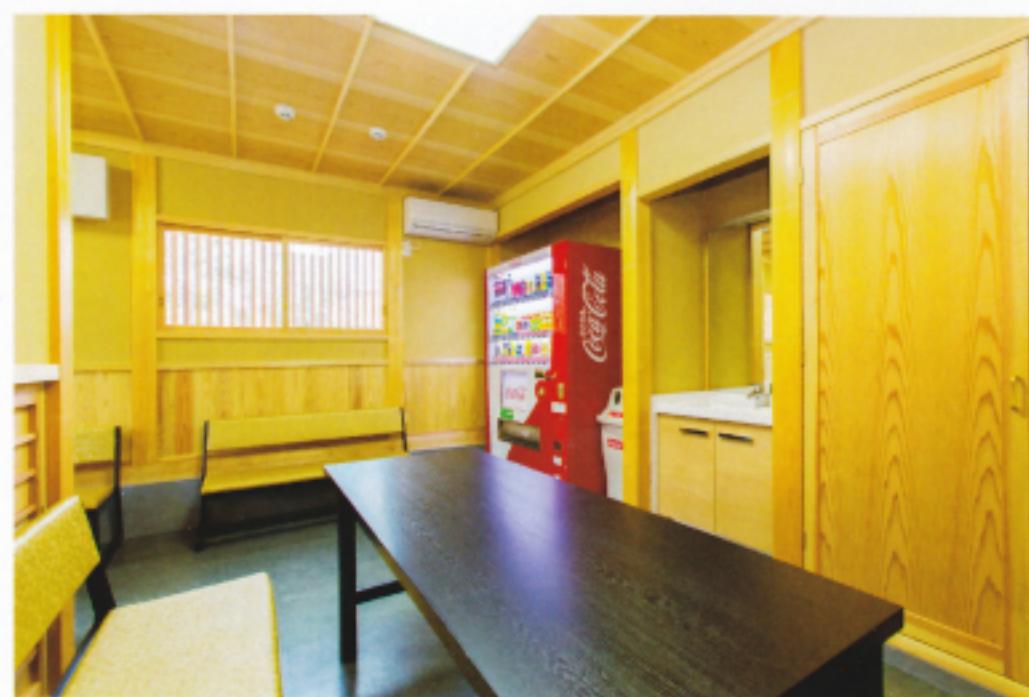
閻魔堂・檀信徒休憩所



車椅子対応トイレ



休憩所内



休憩所内



足立坂東観音靈場 第17番札所

真言宗 普門山 平等寺

〒335-0034 埼玉県戸田市篠目6丁目5番地の4
電話 048(421)5407 FAX 048(422)0717